

未来へ遺すため
あきらめない 



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター
株式会社 **東京光音**

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
TEL: 03-5354-6510 / FAX: 03-5354-6515
Email: info@koon.co.jp



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター
株式会社 **東京光音**

ごあいさつ



みなさまの映像資産を未来に遺すため 視聴覚資料のデジタル化サービスを日本中に提供しています

近年、100年以上の歴史を持つフィルムやビデオテープといったアナログ記録メディアの取り巻く環境が変容しつつあります。

長期間保管されていたそれらのメディアは、どれ一つをとっても、同じ状態のものはありません。作品が持っていた元の美しさを、デジタル復元することを私達の使命と考え、放送局、民間企業、大学機関、公共施設、さらに一般のお客様の大切な映像資産を未来へとつなぐ活動をしています。



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター

株式会社 東京光音

〒151-0061

東京都渋谷区初台1丁目47番地1号 小田急西新宿ビル1階

TEL 03-5354-6510

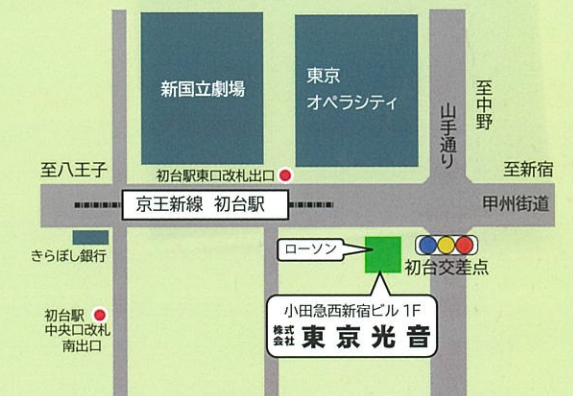
FAX 03-5354-6515

URL <https://www.koon.co.jp/>

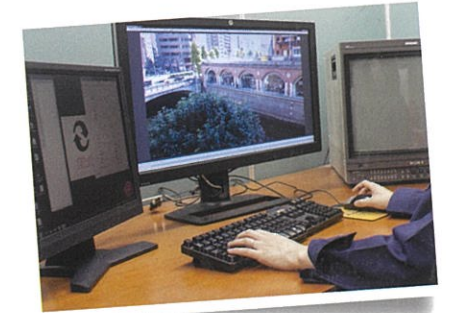
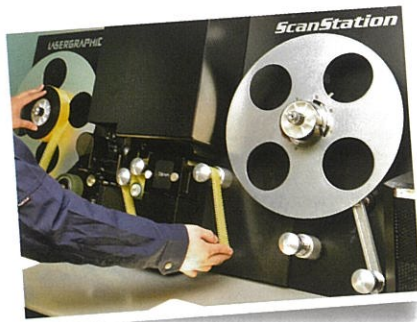
E-mail info@koon.co.jp

営業時間 AM10:00からPM7:00

休業日 土曜、日曜及び祝祭日



「デジタルアーカイブ」のパートナーとして
みなさまの信頼にお応えいたします。



Film Inspection フィルム検査

映画フィルムを長期保存するための、トータルコーディネートを行います。
内容が分からない、状態が悪そうだ、そのような映画フィルムをお持ちでも
あきらめずにご相談ください。



検査

お預かりした映画フィルムは、最初に内容と状態の検査を行います。
お客様のご要望に合わせて1点ずつ検査票を作成することで、どのような保存や活用ができるのかご提案いたします。
何が映っているのか分からない、劣化しているようだけど見ることはできるのか、といったご質問にお答えすることができます。

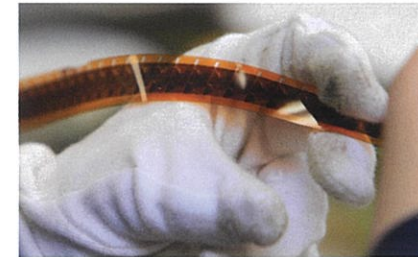
題名/分数
形状/色/音声
世代/フィート数
再生スピード/エッジコード
etc.

キズ/汚れ
破損/褪色
カビ/酢酸濃度
ph値/ベースの種類
etc.

静止画像の作成
クレジット情報の抜き出し
著作権情報の確認
内容調査
etc.

& Cleaning ・クリーニング

補修



デジタル化や試写などの利用に合わせて映画フィルムの補修を行います。
経年劣化によるフィルムベースの変形が大きい場合は、熱処理による平面化作業など、特殊な補修を行うことも可能です。
また、物理的な補修を行うだけでなく、巻き直しなどによる酢酸臭を軽減させる「脱酸」を行うことで、映画フィルムの延命にも役立ちます。



試写



編集機(STEENBECK社製)などの専門機材を利用することで、映画フィルムの試写を行い、お客様ご自身の目で内容や状態を正確に確認することができます。
貴重なフィルムかどうか分からない、内容を見てからデジタル化や保存をするか考えたい、といったご要望にお答えできます。

洗浄



カビ取りクリーニング前

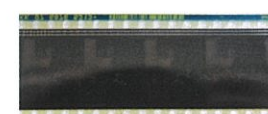


カビ取りクリーニング後

古い映画フィルムは汚れやカビなどが付着している場合が多く、何もせずにデジタル化すると画像の品質が悪くなるだけでなく、その後のフィルム保存にも悪影響があります。
フィルムの汚れは専用の有機溶剤で洗浄し、カビは水系溶剤で軽減させることが可能です。



ドライクリーニング前



ドライクリーニング後

表面に付着しただけのホコリなどは、専用のゴムローラーで付着させて取り除くドライクリーニングも行っています。

包材交換



DANCAN Cine Film Service,SL
<https://dancan.dk/>

日本に残存している多くの映画フィルムは、三酢酸セルロース(トリアセテート)が使用されています。これは経年劣化すると酸っぱい臭いを発生させるビネガーシンドロームを発症し、急速に劣化が進行することで知られています。
交換に用いるDANCAN映画用フィルム缶は、側面の穴(直径1cm)から酢酸ガスを放出できる形状で、錆びることもないポリプロピレンで作られています。

劣化の進んだフィルムでも走行可能なスキャナーを使用し、フィルムを傷めないよう最適なデジタル化を行います。



フィルムスキャナー Lasergraphics 社 ScanStation

- スプロケットレス - フィルムシュリンク(収縮)など劣化や変形などがあるダメージフィルムでも走行可能です。
- スタビライズ - フィルム走行時の揺れを光学的に解析し、走行揺れの無い安定した映像に仕上げます。
- LED拡散光源 - 低温のLED光源により可燃性フィルムの作業も可能です。拡散光源でキズゴミを低減させます。

対応フィルム	35mm / 16mm / 8mm / 28mm / 17.5mm / 9.5mm、オプチカル・マグネサウンドトラック
出力解像度	5K、4K、UHD、2K、HD、SD
出力フォーマット	DPX、TIFF、ProRes、QuickTime、AVI、MP4、WAV など

Scan スキャニング



フィルムスキャニングはフィルムの一コマ一コマを最大5Kの高解像度でデジタルデータに取り込む作業です。デジタルデータに変換後、カラーグレーディングやデジタルレストア処理を行い、映像を仕上げていきます。

35mm、16mm、8mmはもちろん、当社では28mm、17.5mm、9.5mmなどのフィルムにも対応可能です。



低価格内容確認サービス

Pre Scan -プレスキャン-

プレスキャンとは、何が映っているかわからないフィルムを、低価格でデジタルデータへ変換を行うサービスです。映っている映像を確認することで使い道を検討してみませんか？



- プレスキャンロゴと弊社連絡先が入ります。
- フレーム番号より、高解像度箇所の指定ができます。
- 色調調整がされていない映像でのお渡しになります。
- 一部音声は収録されない場合があります。詳しくは担当営業にお尋ねください。

カラーグレーディング

経年劣化により赤く退色したフィルムも、僅かに残る色情報をもとに当時の色彩を再現します。



経験豊富なカラリストがカット毎にフィルムの特徴を活かした色調整を行います。
Log空間の広いレンジで作業することにより、フィルムの持つ情報を最大限に引き出します。

カラー・グレーディングマシン

Baselight

- SDから4Kまで対応しています。
- 4K素材もリアルタイムに作業可能です。
- 世界中の映画、テレビ、CMのグレーディングに使用されています。



色調整前

色調整後

カラー・グレーディングマシン

DaVinci Resolve

- SDから2Kまで対応しています。
- ノード機能による細やかな調整ができます。
- テレシネ時代から実績のあるグレーディングシステムです。



デジタルレストア

フィルムに付着した汚れやゴミ、キズなどをデータ上で取り除く作業です。
レストア作業を行うことで、より上質な映像に仕上がります。



スプライスの修復前



スプライスの修復後



フィルム切断の修復前



フィルム切断の修復後



糸ゴミ、バラ除去前



糸ゴミ、バラ除去後

半自動で行うオート処理の後、手動作業では人の目で1コマ1コマ確認を行い、処理をしていきます。
切断跡・たてキズ・スプライス跡といったフィルムのダメージに加え、フリッカーと呼ばれる画面のチラつきやフィルムの揺れなど、映像上に於けるさまざまな問題に幅広く対応しています。

●使用ソフト一覧

- PFClean
- MTI Correct
- Cine Cure

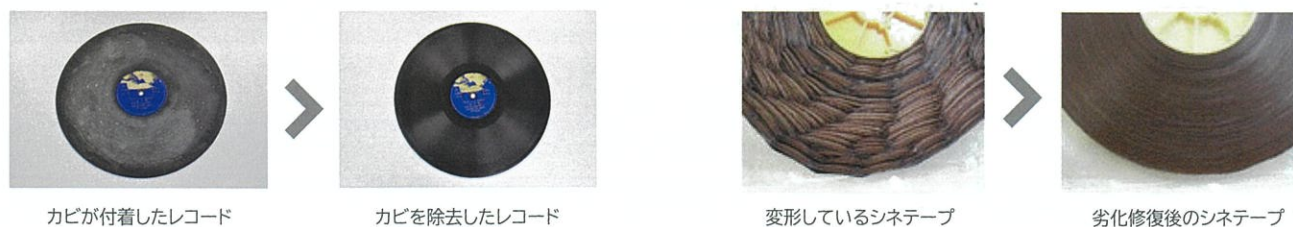
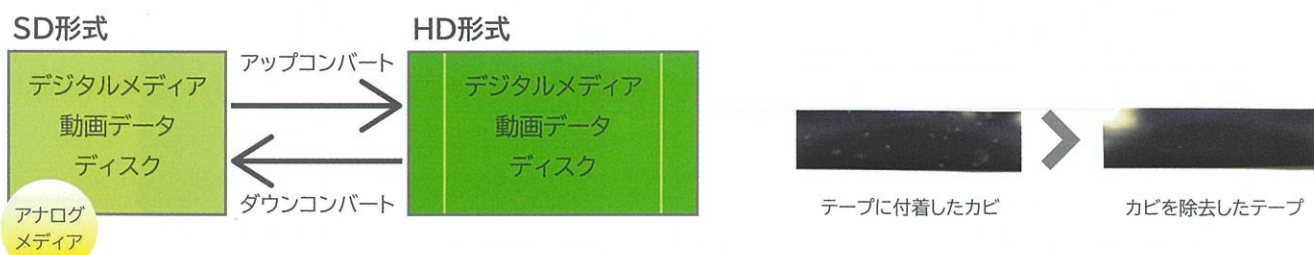


Digitize ダビング・デジタイズ

SD/HDさまざまなテープフォーマットの変換に対応します。あらゆるVTRをメンテナンス、維持し、いつでも最良の状態でもアーカイブできることを目指しています。



古いテープや貼り付きなど状態の悪いテープは徹底的にクリーニングを行い、再生できる状態にしてから作業を行います。また、映画の音ネガフィルムやシネテープなど、様々な規格の機材を揃え、あらゆるメディアからの音声修復も実現しています。

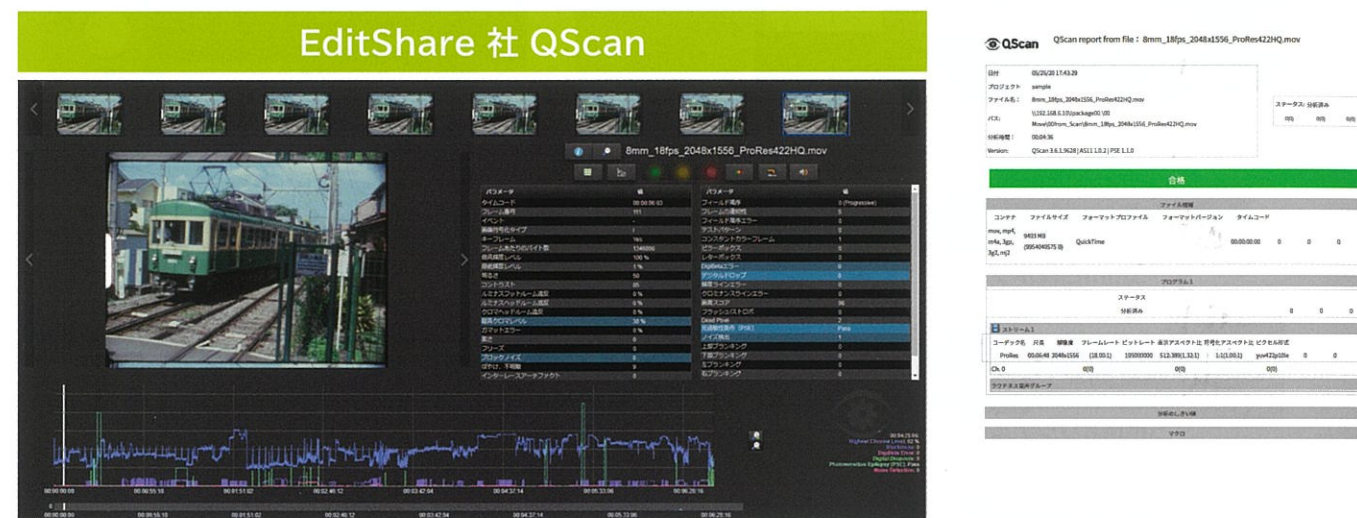


Other work その他

Data Check

映像データ自動品質チェックシステム

完成された映像データを分析してデジタイズ、レンダリング等でエラーが発生していないかチェックします。放送用途に必要なラウドネス値やパカパカ(PSE)の検出も可能です。分析されたレポートをPDFでお渡し致します。



Quality Check

マニュアル型映像品質チェック



映像素材を専任の担当者が目視で全編をくまなくチェックします。自動QCシステムで検出されない問題にも柔軟に対応できます。

Still Picture

フィルム&ガラス乾板のデジタル化



フィルム整理の方法からデジタル変換まで、お客様と相談しながら進めます。古いフィルムやガラス乾板をスキャンし、CD-Rなどのデータメディアや写真にします。素材上の破損跡やキズ等もデジタル処理にて修復致します。

フィルム各種

代表的な各種フィルムを表示しています。(実寸大)



8mmダブルorレギュラー



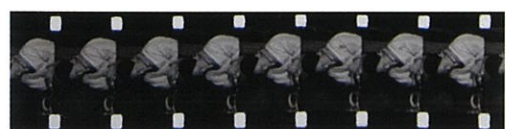
8mmシングルorスーパー



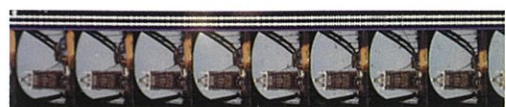
8.75mm白黒ポジ



9.5mmオリジナルリバーサルポジ



16mm白黒ポジ



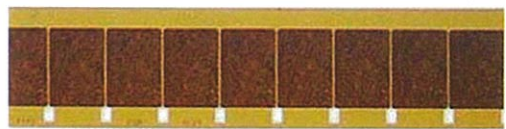
16mmカラーポジ(音付)



スーパー16mmカラーポジ



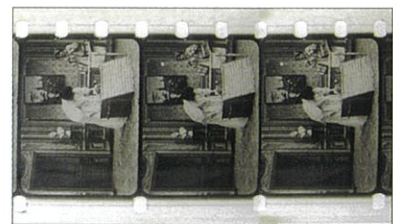
16mm白黒ネガ



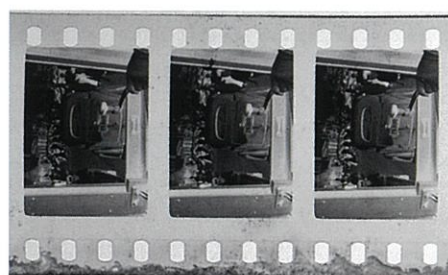
16mmカラーネガ



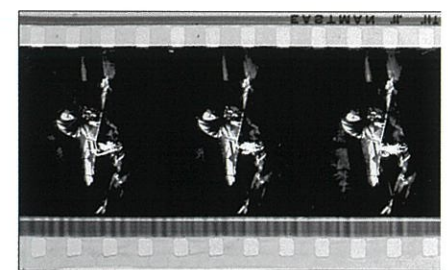
17.5mm白黒ポジ



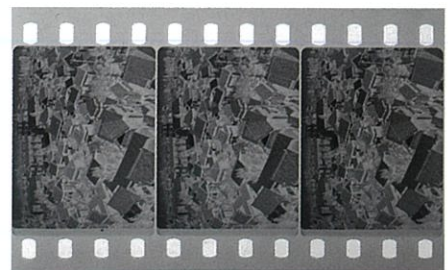
28mm白黒ポジ



35mm白黒ネガ



35mm白黒ポジ・可燃性 映画用 音付



スーパー35mm白黒ネガ



スーパー35mmカラーネガ

VTR/音声テープ各種

代表的なVTR・音声テープ/光ディスクを表示しています。



1インチテープ



3/4インチテープ



HDCAM-SR/HDCAM



XDCAM



LTO



D1



D2



D3



HDD5



ODA



MII



Dβcam



DβcamSP



DVCAM



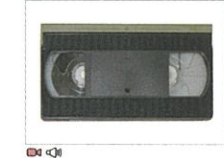
DVCPRO50



ベータ



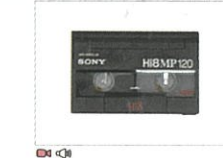
VHS-C



VHS



Vオープン



Hi8



CD/DVD/BD



レコード



DAT



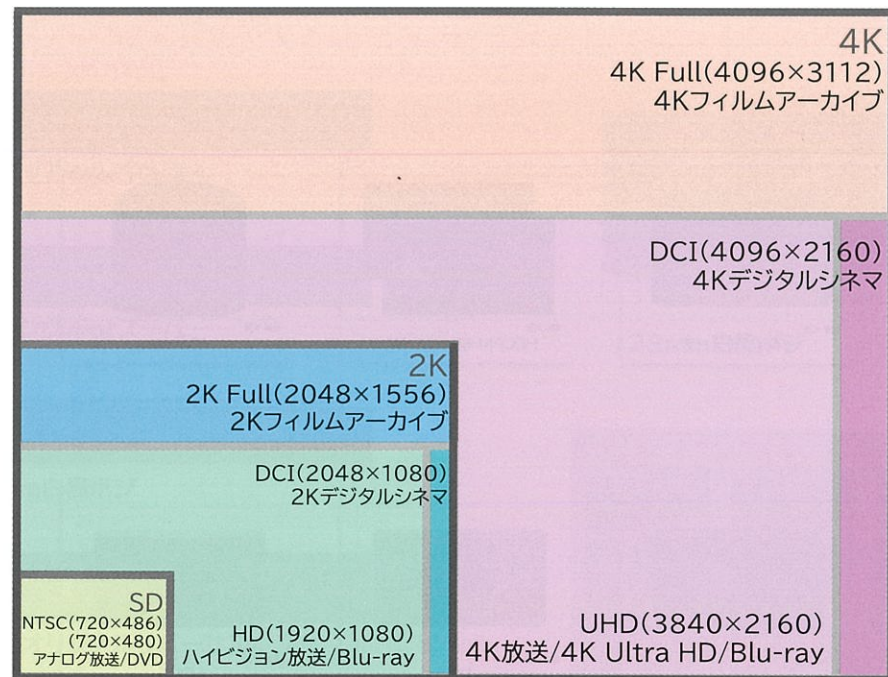
カセット



6mm

解像度 データフォーマット各種

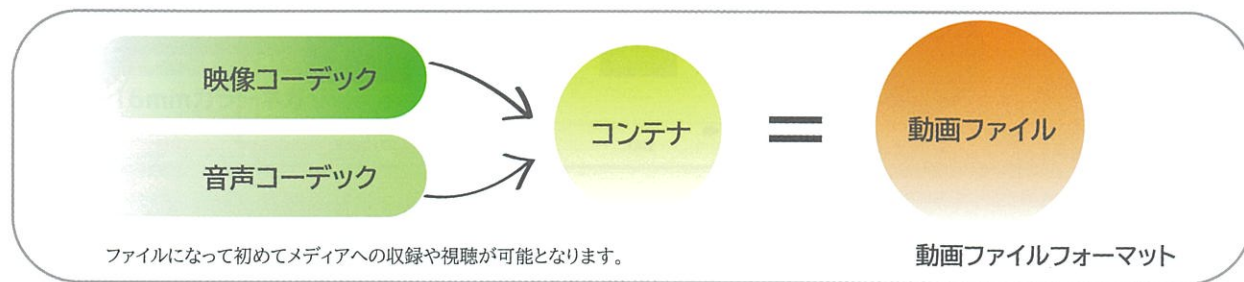
SD~4K
解像度比較



デジタル化する際は解像度の選択が必要です。フィルムの情報量、劣化具合、利用目的等に応じ解像度を選択していきます。保存用として高解像度で作成し、視聴用は用途に応じ保存用から低解像度に変換したものを使うことをおすすめします。35mmフィルムの持つ情報量は4K以上、16mmフィルムは2K以上といわれています。

種別	フォーマット
コンテナフォーマット	MOV / MXF / AVI / MP4
非圧縮フォーマット	DPX(画像連番ファイル) / MOV(非圧縮) / AVI(非圧縮) / WAV
圧縮フォーマット (コーデック)	ProRes / DNxHD/DNxHR / XAVC / XDCAM MPEG HD DV / MPEG2 / MPEG-4 AVC/H.264 HEVC/H.265 / AAC / MP3

※代表的な対応データフォーマットを記載しています。これらのデータ形式以外にも対応可能です。



取り扱い機材一覧

フィルム検査・修復 取り扱い機材一覧

フィルム検査・クリーニング関連機器	
フィルムクリーニング	ドライクリーニング カビ取りクリーニング(自社開発)
クリーニング検査	ステインバック(16mm、35mm)

スキャニング・テレシネ 取り扱い機材一覧

スキャニング・テレシネ関連機器		
フィルムスキャナー	Lasergraphics	ScanStation
テレシネ	Cintel	URSA GOLD
カラーグレーディングシステム	FilmLight Blackmagic Design	Baselight DaVinci Resolve

デジタルレストア 取り扱い機材一覧

デジタルレストアシステム		
半自動型(オート)システム	The Pixel Farm MTI Film	PF Clean MTI Correct
マニュアル型システム		Cine Cure

デジタイズ 取り扱い機材一覧

音声 アナログ機器		
6mm(オープンリール)	OTARI DENON DENON TEAC	MTR-10 DN-3601R DN-3602RG 22-4
シネテープ	Victor	CSL-30
カセットテープ	SONY	TC-KA3ES 他
マイクロカセット	SONY	M-100MC
レコードプレーヤー (SP・LP・EP)	Cosmo Techno	DJ-4500

音声 デジタル機器		
DAT	SONY SONY PIONEER	PCM-7030 PCM-7050 D-05
デジタルマイクロカセット	SONY	NT-2 NTU-S1
CDレコーダー	TEAC	CC-222MKII 他
MDレコーダー	TEAC	MD-5MKII
WAVレコーダー	EDIROL Roland	R-4 Pro R-88

音声 コンピュータ機器		
Macintosh	AVID	Protools

VTR アナログ(SD)機器

1インチ	SONY	BVH-3000 BVH-2000 BVH-2180
3/4インチ (Uマチック)	SONY	BVU-800 BVU-950
BETACAM SP	SONY	BVW-70
MII	Panasonic	AU-60 他
VHS	Panasonic	AG7350 他
βmax ED-β	SONY	SLO-420 EDV-6000 他
Hi8 Video8	SONY	EVO-9800 GV-D200NTSC
統一型VTR	SONY	AV-8750
非統一型VTR	SONY Victor SHIBADEN AKAI	CV-2000 他 KV-810 SV-700 VT-110

VTR デジタル(SD)機器

D1	SONY	DVR-2100
D2	SONY	DVR-18 / DVR-28
D3	Panasonic	AJ-D350
DIGITAL BETACAM	SONY	DVW-A500 DVW-M2000
DVCAM	SONY	DSR-2000 他
DVCPRO 50	Panasonic	AJ-D960 / AJ-D955
miniDV	SONY	WV-DR5 他
microMV	SONY	DCR-IP55
DVD	東芝	RD-X5 他

VTR ハイビジョン(HD)機器

HDCAM SR	SONY	SRW-5500
XDCAM	SONY	XDS-PD2000
HDCAM	SONY	HDW-M2000 HDW-D1800
HDV	SONY	HVR-1500A
1インチHD	SONY	HDD-1000
HDD5	Panasonic	AJ-HD3730
Blu-ray Disc	Victor	SR-HD2500

VTR ノンリニア機器 他コンピュータ関連機器

Windows	Adobe AVID ALMEDIO	PremirePro MediaComposer BDR-PR1MA-X1
Macintosh	AVID Apple Adobe	MediaComposer Final Cut Pro PremirePro
LTO	CACHE-A	Pro-Cache
ODA	SONY	ODS-D280U

主な取引先

株式会社 TBSテレビ / 株式会社 テレビ朝日 / 日本テレビ放送網 株式会社 / 日本放送協会(NHK) / 株式会社 フジテレビジョン
その他放送局及び系列局

株式会社 KADOKAWA / 株式会社 C.A.L / 日活 株式会社 / ユニオン映画 株式会社
その他映画製作会社

株式会社 シネマ沖縄 / ブロードメディア 株式会社 / 株式会社 東北新社 / 株式会社 クープ
その他コンテンツ制作会社

博物館・美術館・図書館・資料館等各公共施設 / 財団法人・社団法人・NPO法人 / 大学機関

上記以外にも同業他社、一般企業、個人まで多くのお客様からお取引いただいております。

会社概要

株式会社 東京光音(本社)

所在地 〒201-0004 東京都狛江市岩戸北1丁目15番地15号

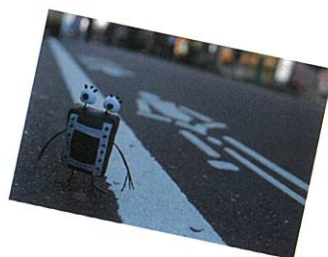
設立年月日 昭和23年5月

資本金 3,000万円

取締役社長 三鬼 浩

TEL 03-3430-5311 (代)

FAX 03-3430-0262



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター

所在地 〒151-0061 東京都渋谷区初台1丁目47番地1号 小田急西新宿ビル1階

所長 松信 秀明

TEL 03-5354-6510 (代)

FAX 03-5354-6515

URL <https://www.koon.co.jp/>

E-mail info@koon.co.jp



大阪営業所

所在地 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目2番地34号

所長 松信 秀明

TEL 06-6357-7271 (代)

FAX 06-6357-7220

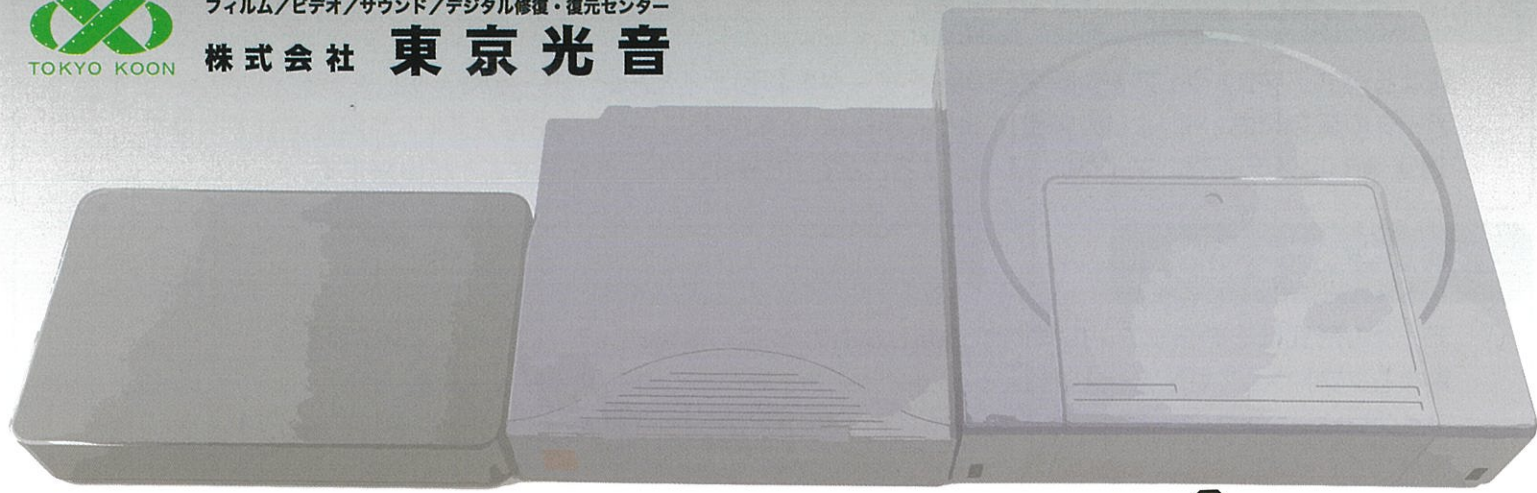
URL <http://www.kouon.com/>

沿革

昭和23年 5月	設立
昭和28年 8月	日本テレビ放送網開局と同時に現像所設立
昭和31年 4月	小西六写真工業のサクラカラー8ミリフィルム発売に伴い、東京青山と大阪に現像所を設立し、全国展開
昭和61年	各テレビ局のフィルムからビデオへの切り替えに伴い、フィルムのビデオ化に着手
平成15年	ハイビジョンテレビの導入
平成28年 3月	4Kフィルムスキャナーの導入
令和 5年 5月	創立75周年



koon.co.jp



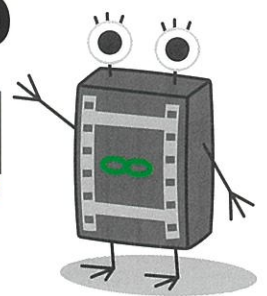
せっかくデジタル化した 映像データ いつまで大丈夫？



データを確実に残していく為の



『データマイグレーション』



のご案内です！

近年 **記録メディア**は磁気テープからデータ形式へ移行しつつあります。しかしデータ形式の記録メディアはメディアそのものの耐久性や互換性など様々な要因で**将来的にデータを使用できなくなるリスク**があります。ではどのように映像データを保存・視聴出来る状態に維持するのか・・・
そのためには **データマイグレーション**が重要です。

データマイグレーションとは？

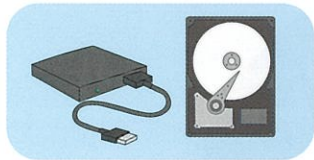
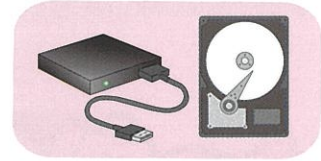
異なる形式 / ソフトウェア / 装置などの間で データを移動することを「データマイグレーション」といいます。データの保存において より大容量により高耐久に 次々と新しい形式や記録メディアが開発されています。適宜 新しいメディアに マイグレーションすることでより確実にデータを残すことができます。

どんなことをするの？

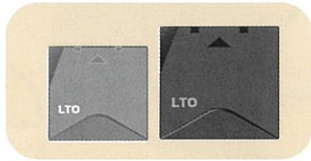
データの形式はそのまま 古いものから新しいものへ 同じ種類のメディアへ移し替える場合と異なるソフトウェアやドライブで扱えるように データを変換して移す場合があります。マイグレーション先のメディアは それぞれのデータの使用目的・使用頻度などを考慮して選びましょう。



大容量メディアにまとめる



長期保存メディアに移し替える



旧世代から新世代へ移し替える



なぜ マイグレーションが必要？

現在 様々な記録メディアが存在しますが どれもデータの確実な保管において完全とは言えません。そこで 古い記録媒体から新しい記録媒体へ データの移行・書き換えが必要となります。

破損・故障リスク

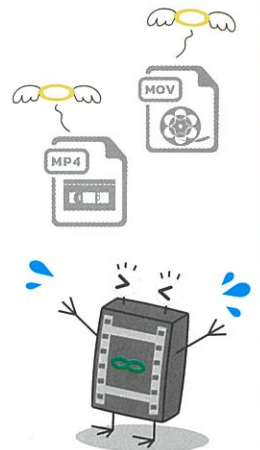
メディア寿命



再生機器の減少

世代間の互換性

供給期間



目的に応じた複数のメディア形式での保管 と 適宜マイグレーションを行うことが重要です。

マイグレーションについてさらに詳しく知りたい方は当社 HP をご覧ください。
お問い合わせは 各担当者または下記までお待ちしております。



フィルムの見える化しませんか？



Pre News プレスキャン

東京光音 プレスキャン事業のご案内

プレスキャンとは

ずっと置きっぱなしになっているフィルムがあるけど、何が映っているのかわからない。捨てるのはもったいないけど、どうすれば良いのかわからない。

低価格内容確認サービス「プレスキャン」で映画フィルムの見える化をおこない、映っている映像を確認することで使い道を検討してみませんか？



このような方に向いています

- 何が映っているのかわからない映画フィルムをお持ちの方
- 映画フィルムの一部のみを高画質化したい方

何が映っているのかわからなかったフィルムが低価格で内容確認することができます。プレスキャンを利用することで欲しい映像、必要性の高い映像を厳選できます。



プレスキャン指定と高解像度化のながれ

フィルム原版をお預かり
弊社フィルム保管庫に入庫



プレスキャンデータの納品



お客様

プレスキャンデータを元に
高解像度化箇所をご指定



高解像度化指定箇所を
スキャン・色補正・キズ消し



高解像度データの納品

プレスキャンロゴと
弊社連絡先が入ります。

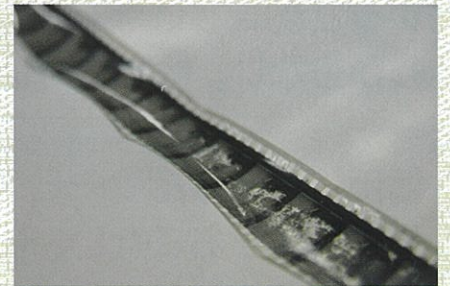


フレーム番号より、
高解像度箇所の指定も可能です。

※色調補正がされていない映像でのお渡しになります。
※一部音声は収録されない場合があります。
※詳しくは担当営業にお尋ねください。

補修が必要なフィルムについて

可視化作業を行う際に、フィルムの縮み変形などの劣化症状があると、フィルム補修の工程が不可欠になる場合があります。補修・修復が可能うちに、きちんと補修した上で可視化作業を行わせて戴きます。お見積時に判明しますので作業前にお伝えいたします。



カシカくんについて

プレスキャンを多くの人に親しんでもらうために生まれた
"カシカ"
"可視化"キャラクターです。

お気軽にお問い合わせください



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター

株式会社 **東京光音**

www.koon.co.jp

東京 **03-5354-6510**

〒151-0061
東京都渋谷区初台 1-47-1
小田急西新宿ビル 1F

大阪 **06-6357-7271**

〒534-0025
大阪市都島区片町 2-2-34

視聴覚資料の 「2025年問題」 ご存知ですか？



資料の保存・修復・複製・利活用方法など
視聴覚資料に関する全ての「困った」にお応えいたします



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター

株式会社 東京光音



2025年問題とは

過去60年間に作成された磁気テープの再生機材が急速になくなっており、2025年頃には通常の再生ができなくなる可能性が高いという問題です。

Magnetic Tape Alert Project

2019年7月15日、ユネスコの“Information for All Programme”（みんなのための情報プログラム）は2025年頃には磁気テープの再生機材がなくなる可能性が高いことを警告するため“Magnetic Tape Alert Project”を開始しました。

磁気テープに記録された多様な資料を長期的に保存するためには、デジタル化し、安全なデジタル・リポジトリに保管することが唯一の解決策と言われています。

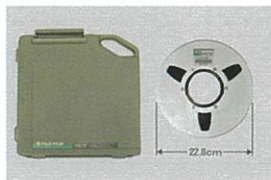
磁気テープを放置していると…

磁気テープを適切ではない環境下に放置していると、縮み、カビの発生、糊の浮き出しといった劣化現象が起こります。劣化が始まると、そのままの状態では再生機材にかけることが出来ませんので早急な対策が必要です。

劣化した磁気テープについて

劣化した磁気テープはデジタル化はできないのでは……と思われがちですが、必ずしもそうではありません。適切な補修やクリーニングを施すことでデジタル化が可能です。当社の作業実績では、劣化の進んだ資料でも9割以上はデジタル化に成功しています。

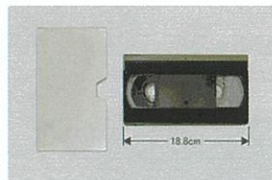
磁気テープ登場年



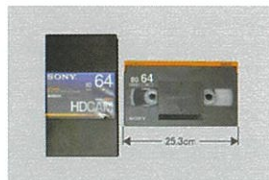
1インチ
1976年



U-matic
1971年



VHS
1976年



HDCAM
1997年



6mm
1950年(日本)

お気軽にお問い合わせください



フィルム/ビデオ/サウンド/デジタル修復・復元センター

株式会社 東京光音

www.koon.co.jp

TEL : 03-5354-6510

HP : <https://www.koon.co.jp/>

〒151-0061

東京都渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1階

映画フィルム用プラスチックケース DANCAN

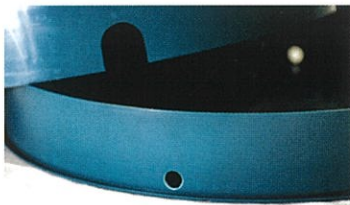


資料保存性

DANCANは化学反応を起こしにくいポリプロピレンで製造されています。この特徴は、長期間のフィルム保管に向いており、SMPTE・ISO・FIAFの各機関で指定された長期保存条件に適合しています。ポリプロピレンは反りの傾向もなく、優れたプラスチックケースです。

劣化フィルムに対応

従来のフィルム缶では、アセテートフィルムから発生する酢酸ガスを内部に溜め込んでしまう場合があります。DANCANでは、アセテートフィルムの酢酸ガスを放出するため側面に11mmの穴を設けております。



ケースサイズ一覧

35mmフィルム用 (外寸：直径 x 高さ)

2000ft	380x44mm
1200ft	310x44mm
1000ft	280x44mm
400ft	185x44mm

16mmフィルム用 (外寸：直径 x 高さ)

2000ft	380x26mm
1200ft	310x26mm
1000ft	280x26mm
400ft	180x26mm

お気軽にお問い合わせください